



概要

設立年月 昭和54年1月

会長 森義臣 (もりよしおみ)

会員数 24人

住所 玉名市繁根木75

主な活動地 熊本県内

玉名演奏者協会は、昭和五十四年に玉名の音楽指導者達により
 結成された。当協会は、会員相互の親睦を図るとともに、「教え
 る前に学べ」を基本理念に自己研修を旨とするものである。主な活
 動は、年一回の定期リサイタル(玉名市民会館)、地元の小・中
 学校でのスクールコンサート等の演奏会、後進を育成するための
 講習会、研修会等である。

発足して十年間は、会員の自己研鑽を中心とした活動を行うが、
 玉名市民会館の設備の充実、スタンウェイ・フルコンサートピア
 ノの購入等に伴い、十一年目からは、より社会的な自覚と責任を
 持ち、他の文化団体等とも協力して、志の大きい活動の展開を見
 せるようになった。平成六年、世界的なピアノ・パ斯卡ル・
 ドヴァイヨン氏を招聘してのコンサートを実現、平成七年、「J
 apan Week」に参加し、ザルツブルグ(オーストリア)
 の祝祭劇場でのコンサートを開き、音楽を通しての国際親善に大
 きな貢献を果たした。

協会創立二十周年の平成十年は、五月に特別演奏会、八月にオ
 ペラ公演「ライガロの結婚」という二大イベントに挑戦した。特
 別演奏会は、全国的に著名なチェロ奏者北本秀樹氏、箏の古川郁
 代氏を招聘して、洋楽と邦楽の調和を旨とするプログラムを試み、
 聴衆の反響も高かった。また、オペラ公演「ライガロの結婚」は、
 文化庁、県、玉名市の支援等を受け、地元の音楽家を中心にオペ
 ラの大作に取り組み組んだものであり、県内の音楽関係者からも高い
 評価を得たところである。

玉名市は、昭和二十六年には市民合唱団が発足するなど音楽が
 盛んな土地柄であるが、玉名演奏者協会の二十年にわたる活動に
 より、玉名市の音楽文化は一層の発展を見せている。

これまでの活動歴

- ・昭和五十四年 玉名演奏者協会発足
- ・昭和六十一年 第一回リサイタル(玉名市民会館)以後毎年開催
 玉名市へリサイタル用ピアノを贈呈 翌年市から感謝状
 の授与。
- ・平成七年十一月 ザルツブルグJapan Week(ザルツブルグ市祝祭
 劇場)
- ・平成十年 五月 玉名演奏者協会二十周年特別演奏会(第二十二回玉名市
 自主文化事業)
- 八月 オペラ公演「ライガロの結婚」(モーツァルト作曲・全四幕)
- 主催、共催による演奏会
- ・昭和六十年 「チャリティーコンサート」歌とピアノの夕べ
 アナピアノ三重奏演奏会
- ・昭和六十一年 パスカル・ドヴァイヨンピアノリサイタル及び公開レ
 ヴィン
- ・昭和六十三年 九州交響楽団玉名巡回演奏会
 平成元年 第一回たまいなひゆコンサート(県民文化祭)～第五回
 まで継続
- ・同年 典子とヒロシのデュオ・フアンリコンサート(大村典
 子・吉田洋)
- ・平成三年 いばあさいぞコンサート
 アリオン・トリオ・ピアノ三重奏
- ・平成六年 パスカル・ドヴァイヨンピアノリサイタル
- ・平成九年 第十七回富田耕八朗・古川郁代・ヨントリサイタル
 助出演
- ・同年 田邊隆太郎・小山卯三郎に捧ぐメモリアルコンサート出演
 川口耕平作品によるチェリニアコンサート合唱出演
- 主催講習会・セミナー
- ・昭和五十六年 安永武一郎セミナー
 大村典子指導者のためのセミナー・お母さま方へのセミナー
- ・昭和五十八年 大村典子指導者のためのセミナー
- ・昭和五十九年 川崎祥悦セミナー
- ・昭和六十三年 古舞踊研究会(講師 古賀穂南美 演奏グループ7名)
- ・同年 チェンバロ〈演奏とお話〉(チェンバロ製作者 堀栄蔵)
- ・平成元年 演奏者田代子
 フォルテ・ピアノの会(演奏 渡邊順生)
- ・平成四年 大村典子ピアノセミナー連弾指導法
- ・平成七年 モンタナ大学木管五重奏演奏会